

# 付録

室井ちあし

1990/02/03

## 1 摘要

この索引は

- 和文索引
- 英文索引
- 人名索引

の3つに分かれている。和文索引は五十音順、英文索引と人名索引はアルファベット順に並べてある。

例えば、「数値シミュレーション」について調べたい場合、和文索引を見ると

数値シミュレーション, A1-1

のように書かれてある。ここで A1 は参照すべきドキュメントのタイトルの略号、1 は A1 という略号で示されるドキュメントの中のページを表している。

ページの後に N とある場合は、その次のページもという意味である。

例えば

## 正確度,A1-1,A3-3N

とある。これは, A1 というドキュメントの 3 ページと, A3 というドキュメントの 3,4 ページを表している。

タイトルの略号は次の通りである。

- A1 : 気象業界における数値計算の歴史と現状
- A2 : 有限差分法の原理
- A3 : 有限差分スキームにおける基礎概念
- A4 : 安定性の判定法
- B1 : 常微分方程式を解く各種スキーム
- B2 : Semi-Implicit 法
- B6 : Split 法
- B3 : 振動方程式に適用したときのスキームの特性
- B4 : 摩擦方程式に適用したときのスキームの特性
- B5 : 方程式が複数の項を含む場合のスキームの選択
- C1 : 1次元移流方程式の数値計算法
- C2 : スキームのまとめ
- C3 : 上流差分スキーム
- C4 : 2次の正確度を持つ空間中心差分スキーム
- C5 : 4次の正確度を持つ空間中心差分スキーム
- D1 : 2次元移流方程式の安定性
- E1 : 非線形移流方程式のおぼけ
- E2 : 非線形移流方程式の不安定性
- E3 : Arakawa スキーム
- F2 : 直接法
- F1 : 緩和法

従って, 「数値シミュレーション」という言葉は, 「気象業界における数値計算の歴史と現状」というドキュメントの 1 ページにあることがわかる。

## 2 和文索引

### 2.1 あ

安定性, A3-1,A3-7

依存領域, A3-5

打ち切り誤差, A3-3

エネルギー法, A3-7

### 2.2 か

格子間隔, A2-1

格子点法, A1-2

### 2.3 さ

収束性, A3-1,A3-5

数値シミュレーション, A1-1

数値予報, A1-1

スペクトル法, A1-2

正確度, A3-1,A3-3N

## 2.4 た

直接法, A3-7

適合性, A3-1,A3-2

特性曲線, A3-3,A3-5

## 2.5 な

## 2.6 は

フーリエ級数法, A3-8

## 2.7 ま

## 2.8 や

有限差分近似式, A3-1

有限差分スキーム, A3-1

有限差分法, A2-1

## 2.9 ら

## 2.10 わ

## 2.11 その他

5点法, A2-2

9点法, A2-2

## 3 英文索引

### 3.1 a

accuracy, A3-1,A3-3N

### 3.2 c

characteristics, A3-3,A3-5

consistency, A3-1,A3-2

convergence, A3-1,A3-5

### 3.3 d

domain of dependence, A3-5

**3.4 e**

Euler, A1-2

**3.5 f**

finite difference method, A2-1

**3.6 l**

Lagrange, A1-2,A2-3

**3.7 s**

stability, A3-1,A3-7

**3.8 t**

truncation error, A3-3